

かもめ会だより

講演会 「統合失調症とご家族の対応」の要旨

かもめ会役員の高橋和子さんが講演会でメモを取って要約してくれました。

主催 文京区心のふれ合いを進める会 第20回講演会記録

題名 統合失調症とご家族の対応 家族も病気の方も共に楽になるために

会場 2019.2.16 於文京シビックホール 14:00～16:00

講師 高森信子氏

昨年のかもめ会の講演会でもお話をしてくださった夏刈先生の関わっているオープンダイアログ(患者との話し合いに於いて、反対者の発言も大事にしながら、平等に話し合う活動)に於ける5年間の追跡調査の結果、80%の患者が薬なしの生活を行えた。反面欧米では急性期の患者をテロ実行犯と同等に考える傾向が一部にある。昨年5月、沖縄では急性期の治療をどう考えてゆけばよいかという問題が取り上げられた。(長論文22頁に亘るものだが明確な結論なし)

本題

薬は治すのではなく病気を抑えたり楽にするもの。その時患者は健康と言える。その健康をふやすことが治療である。死にたい程つらいのは本人である。

親は子供に対して

- 1.今を認める(妄想など)多くを期待しないこと。
- 2.ほめる 発症したことにより本人は大人になりたくない。子供のままでいたいという気持ちに戻る。ほめながら大人にすること。ほめても増長するということはないであろう。
- 3.お願い (出来そうなことを頼む)例、庭に出てくれるとうれしいな、お願いしても本人がこだわるような時はそのままよい。例(どうしても帽子をとろうとしない etc.)

* 親にも出来ることと出来ないことがあることをわからせながら、あなたは私にとって大事な人と常に言う。

* カラオケや叫びのつぼなどで大声を出させるなどして気持ちを発散させるのも考

* 良いコミュニケーションとしては相手の気持ちがわかり、対応する事であり、常に話をきいてあげる家族になる事が大事である。(あとはプリントを参照して下さい)記録 高橋

5月の精神家族勉強会（荏原保健センター主催）について

次回家族勉強会は、

日時 2019年5月8日(水)13時30分から

会場 荏原保健センター2階の多目的室

題名 社会資源について

皆様のご参加をお待ちしています。

参加希望の方は、荏原保健センター ☎ 3788-7016 までお電話ください。

(臨床心理士 飯塚伸一)

裏面にかもめ会総会の御案内等が記載されております

かもめ会総会のお知らせ

前記の精神家族勉強会が終了後同じ会場でももめ会総会を行います。

日時 2019年5月8日15時40分頃～16時40分（精神家族勉強会の終了後開会）

会場 荏原保健センター 2階 多目的室

議題

- 1、2018年度かもめ会活動報告
- 2、2018年度かもめ会会計報告
- 3、2019年度かもめ会活動計画
- 4、2019年度かもめ会予算案

ペットボトルのお茶とお菓子を少々用意いたします。

4月のかもめ会だよりに総会の委任状を同封いたしますので出欠をお知らせください。

2019年度かもめ会費の納入をお願いいたします

19年度のかもめ会費の納入をお願いいたします。

会員の方は年会費6千円を、賛助会員の方は年会費3千円を同封の赤いインクで印刷した払込取扱票（送金料はかもめ会負担です）を使用して郵便局で払い込んでいただくようお願いいたします。

かもめ会員への3月号の同封資料

1. 心身障害者医療費助成制度(マル障)の改正のお知らせ 家族が精神1級の手帳をお持ちの方は申請すると医療費の自己負担が無くなります（品川区障害者福祉課）
2. こんぼ亭（当事者も、家族も。老後の事をみんなで考えたい）
3. たいむりい news3月号(たいむ)
4. つくしだより3月号(つくし会)
5. 2019年度精神家族勉強会の案内
6. かもめ会費の払込取扱票

かもめ会役員の方へ

4月のかもめ会役員会のお知らせです。

役員の方は4月13日(土)13時30分に荏原保健センターの多目的室にお集まりください。

審議事項 5月の総会の詳細、19年度の企画、について決めていきます。